1. 土地・気象

1. 地　勢

箱根町の地勢は、箱根火山の複雑な形成史により起伏に富んだ多様な火山地形によって形作られており、町の行政区域は、標高1,000mほどの金時山・明星ケ岳などの外輪山の内側に相当する。カルデラの内側には浅間山・鷹ノ巣山・屏風山などの前期中央火口丘群、そして主峰である神山（標高1,438m）をはじめ、駒ケ岳・二子山を中心とした後期中央火口丘群で形成されている。

約3千年前の神山の山体が崩壊を起こし、その流れ出た土砂が当時の早川をせき止めてつくられた芦ノ湖などの湖沼・河川・草原を配し、壮大な景観が広がっている。

また、40万年以上に及ぶ箱根火山活動がもたらした自然を保全し、教育や観光などに活かしていく地域の活動が認められ、2012年に日本ジオパークに認定されている。

